

## 【近親相姦体験】

テレワークで家にいる母さんは意外とヤレることがわかった

母さんが「テレワーク」ということで  
家にいる様になった。

父さんは会社に行っているので  
僕が学校から帰ってくると  
自然と、僕と母さんの二人きりになる。

その二人きりの時間が僕には嬉しかった。



なぜなら僕はずっと  
母さんを

母親というより  
ひとりの女として  
抱きたいと思っていたから。





ああ…母さん…



今日も素敵な  
僕の母さん…

毎日の僕のオナネタ母さん…

ある日、僕は堪らず  
母さんにキスをしてしまった。

母さん！

ん……んんん？！

もちろん母さんは驚いていたが。

ちよつと……ええ？  
いったい何？

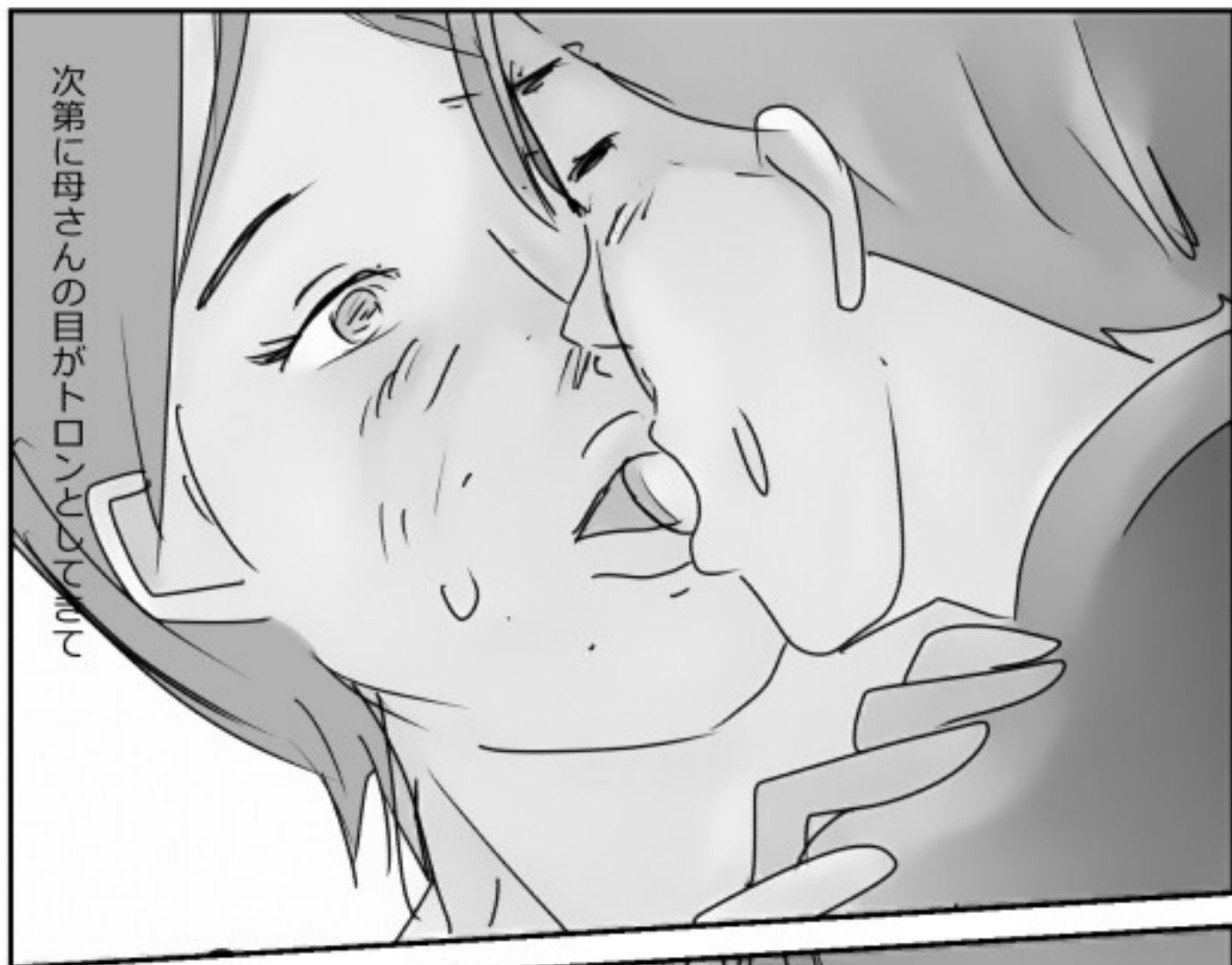


それでも構わず…



僕は濃厚なキスを続け、

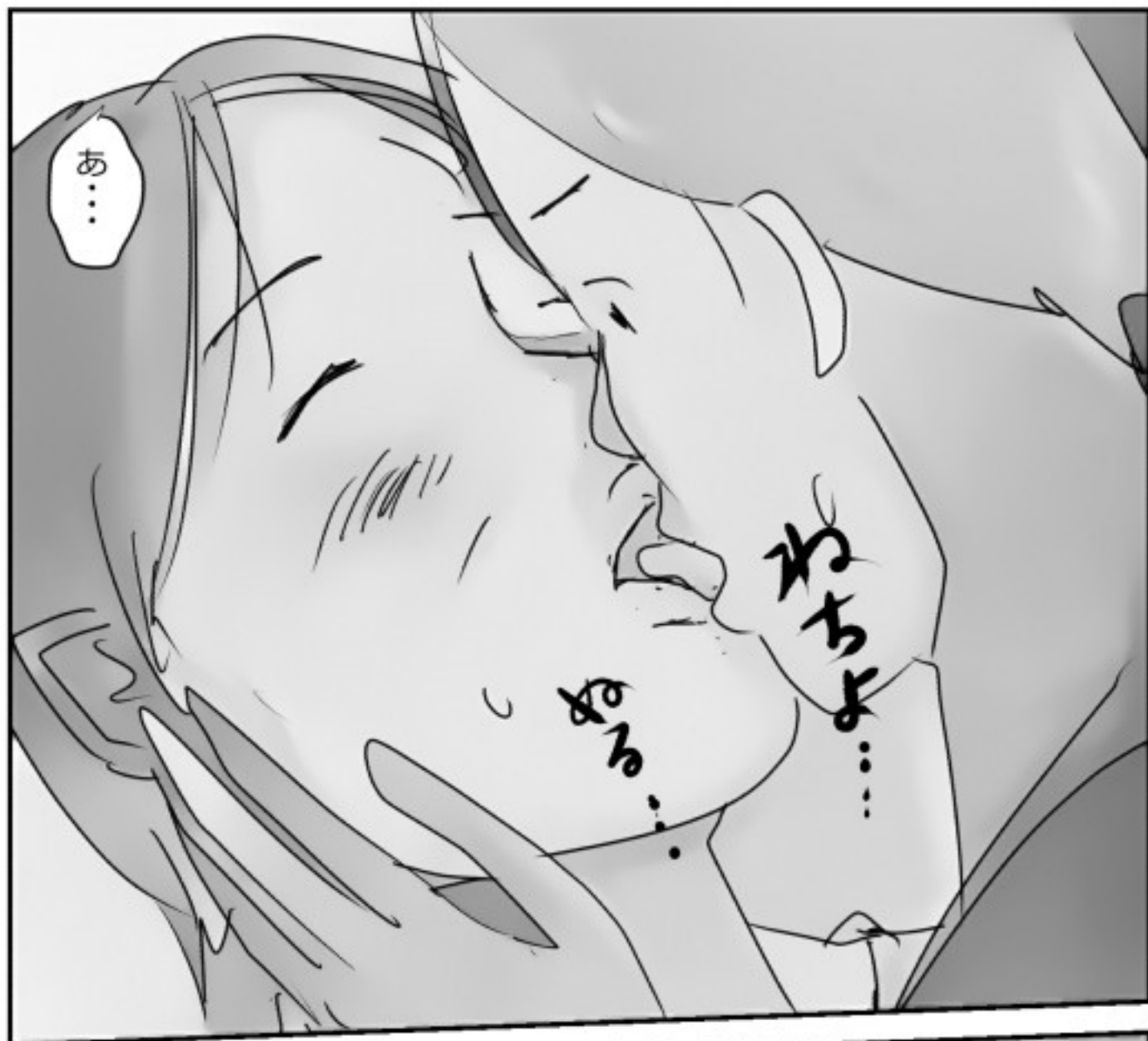
母さんの舌を…  
唾液を、吸いまくった。



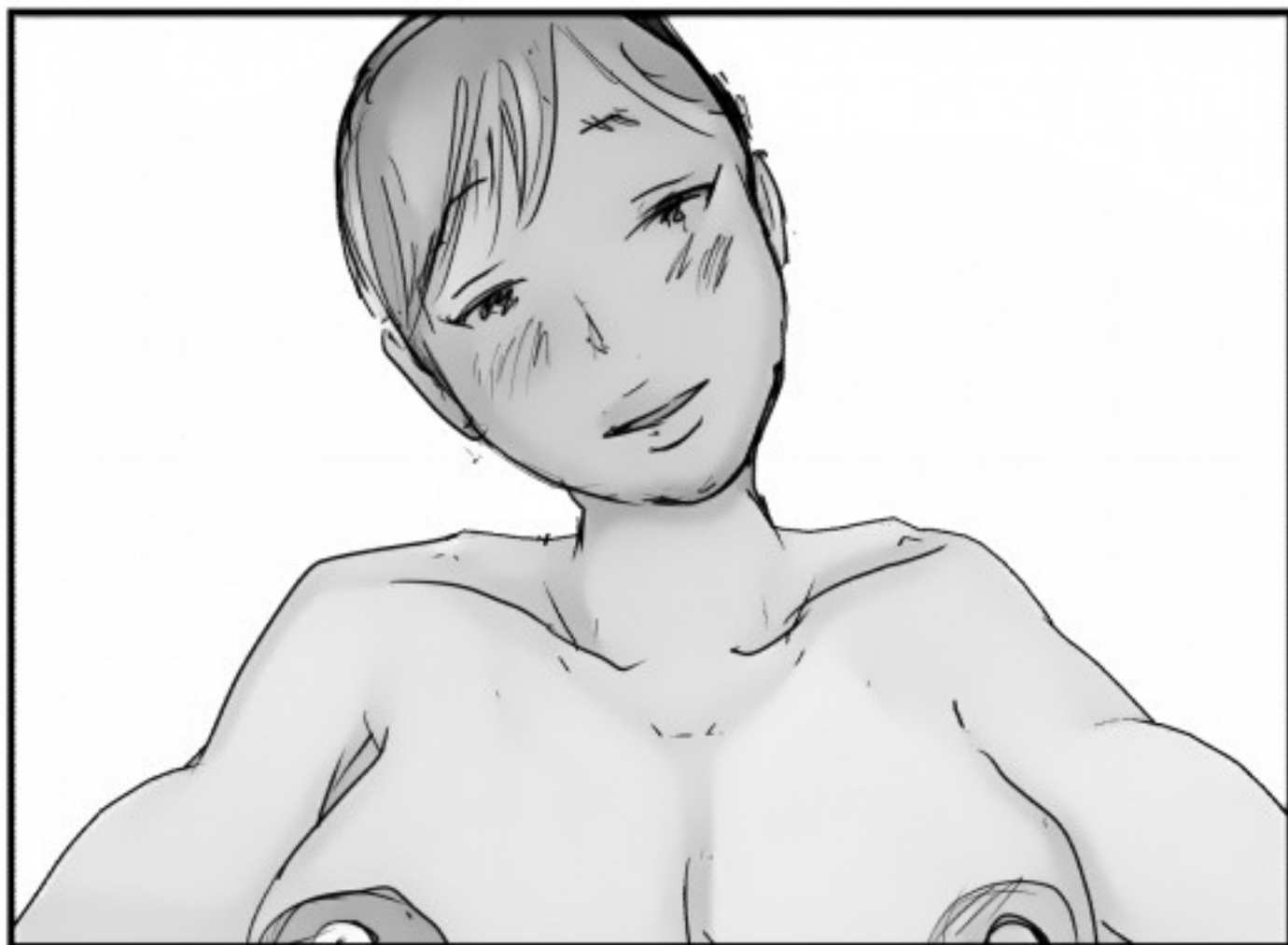
次第に母さんの目がトロロンとしてきて



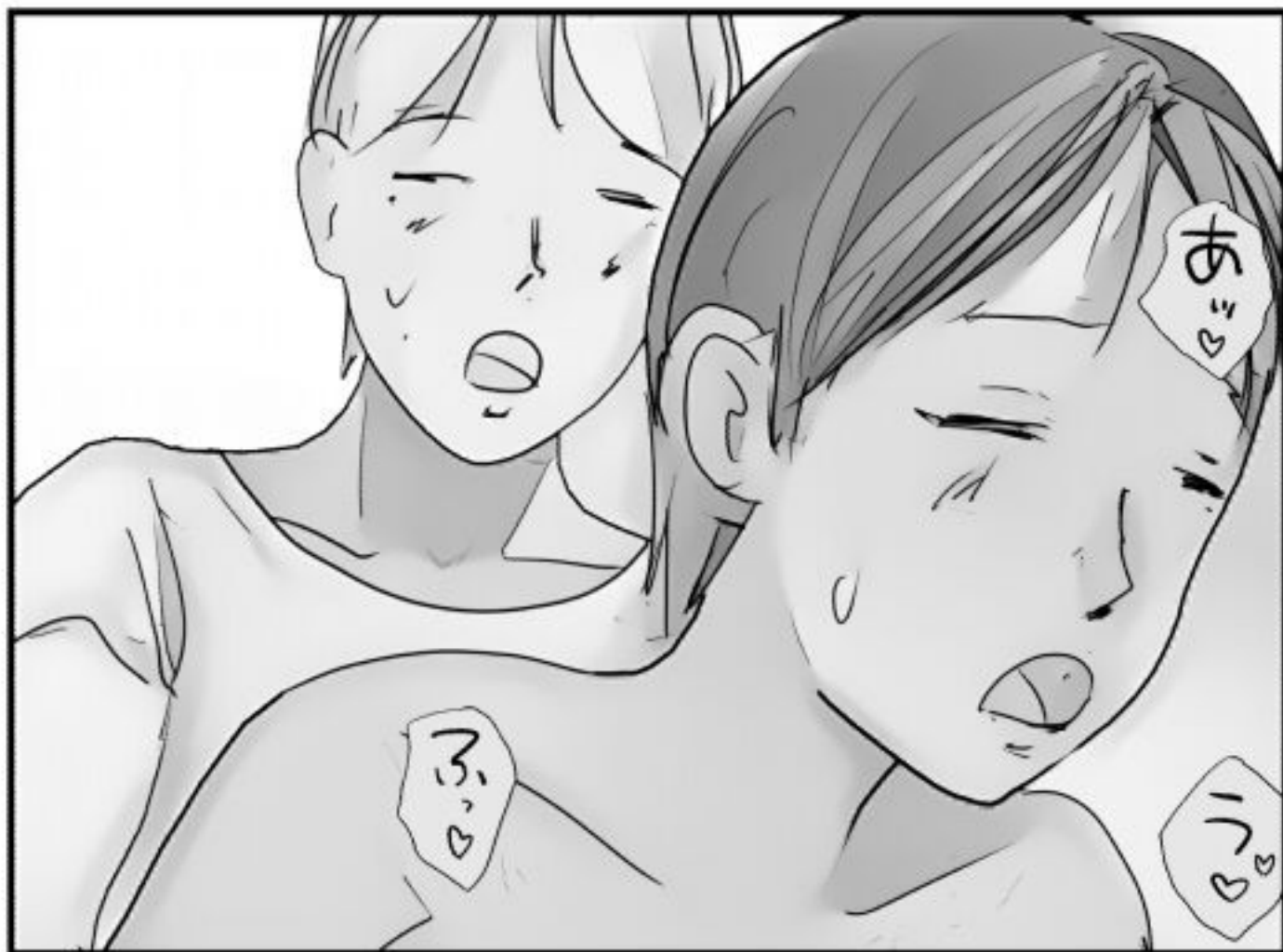
僕のその欲望を受け入れてくれた

















ママさんー

ママさんー!

ママさんー

ママさんー!

か...ママさん...!

ママさん...ママさん...ママさん...

ママさん

ママさん



そうして僕と母さん……  
二人は段々とその行動が  
大胆になっていきました。

ズームでの会議中にわざと  
してみたり……と  
もはや何でもアリに  
なってきました。



時には二人で浴室で交わることも多くなりました。



それも父さんが家にいる時間帯ですからドキドキです。





母さんは僕の子どもを妊娠しましたが  
もはや止めることは出来そうもありません……。

程なくして母さんは僕の子どもを出産しました。

父さんは自分の子だと思っっているようです。

(母さんは、父さんが酔っぱらって帰ってきた日にセックスをしたことにしているそうです)  
年の離れた妹として、僕は接していくことになりました。

それから僕と母さんの日々は続いています。

家の中だけでは収まらず、最近ではホテルの部屋をとって二人で朝までセックスをすることもあります。

母さんの年齢の女性は独特の匂いがあり、僕はそれが大好きです。

わきの下が特にその匂いが強くて、僕はそこを舐めるのが最高だと思っています。

これからも沢山中出しして、兄弟を増やしていけたらと思っています。